

保証書

お客様が正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼下さい。無料修理をさせていただきます。

「本器の故障及び取り扱いに関しては、次のことに注意して下さい」

- ①故障した場合は、勝手にいじらず、販売店または製造元に連絡すること
- ②本器を改造しないこと
- ③しばらく使用しなかった本器を再使用するときには、使用前に必ず本器が正常かつ安全に動作することを確認すること

型式	SOO-11	お買上げ日 平成 年 月 日	本体保証期間：1年
お客様	ご住所 お名前 お電話		
販売店	住所 店名 電話		

- ①保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または、改造や不当な修理による故障または、損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または、損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障または、損傷
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き換えられた場合。
- ②ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談下さい。
- ③本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
- ④本書は日本国内においてのみ有効です。

修理を依頼されるとき

サービスをご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はお買い上げの販売店へご依頼下さい。

- 保証期間中は、お買い上げの販売店まで保証書をご提示のうえ、ご相談下さい。保証書の内容により販売店が修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談下さい、修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

製造元 **サニア工業株式会社**

〒497-0002 愛知県あま市七宝町通鳥上江越1530

遠赤外線オーブン

Sania
サニア工業株式会社

やき工房¹⁰⁰

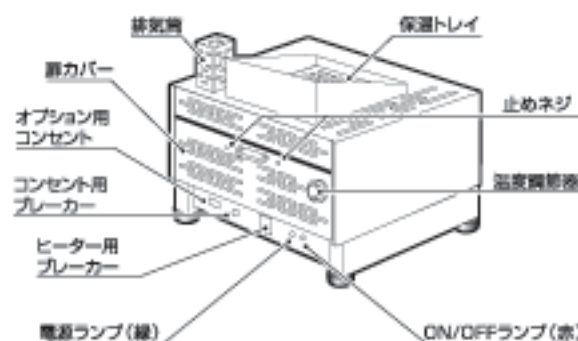
〈屋内用〉

SOO-11

取扱説明書

- この度は、「やき工房」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 安全にご使用いただく為に、御使用前には必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使い下さい。
- この取扱説明書、及び保証書は大切に保管して下さい。
- ご使用前に付属品をご確認下さい。

●各部の名称

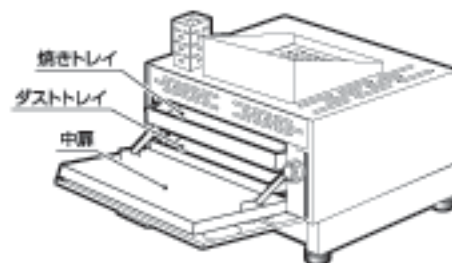


●付属品

- のぼり 1枚
- 革手袋 (保護手袋) 1双
- キッチンタイマー 1個

●製品仕様

品名	遠赤外線オーブン「やき工房100」
本体寸法(mm)	540(h)×810(w)×510(d)
電源	AC100V 50/60Hz 定格15A以上のコンセントを 単独で使用してください。
定格消費電力	1200W
型式	SOO-11
トレイ寸法(mm)	40(h)×400(w)×350(d)
重量	約30kg



扉カバーの外し方
中扉についているフックに扉カバーの内側が入り込んでいますので、止めネジをはずし、扉カバーを下方にスライドさせると外れます。



●ご使用方法

- ①電源コードをコンセント(専用)に差し込む。
- ②ヒーター用ブレーカをONにする。(電源ランプが点灯します)
- ③予熱運転をする。
湿度調節器(サーモスタット)の目盛を200℃にセットし(ON/OFFランプが点灯します)30分以上、又はON/OFFランプがOFFになるまで、予熱時間を実行して下さい。(予熱時間は、必ず実行して下さい。又、最初にご使用になる場合は、ご使用前に必ず1時間以上の予熱時間を実行して下さい。)
- ④中トビラを開き、商品材料が重ならないように段に並べ入れ、調理時間の目安を参考に焼き上げ調理します。(裏返し作業は不要です)

調理する(焼く)

●調理時間の目安(200℃)

焼き手	サイズ	調理時間
●	Mサイズ	45~60分
	Lサイズ	50~80分
	LLサイズ	70~90分

- ⑤使用後はブレーカを落とし、電源コードをコンセントから抜いて下さい。

保温

- 焼き上がった食品(焼き芋)は、本機の上面の保温トレイに置いて、保温できます。
※焼き上げ中の余熱を利用して保温するので、効率よく経済的です。庫内に商品材料が入っていないときは、湿度調節器(サーモスタット)の目盛を100℃位に下げ保温して下さい。消費電力を節約できます。

商品の出し入れする時は必ず保護手袋をご使用下さい。(中トビラやトレイが高温になっていますので火傷に注意して下さい。)

●保守管理について

庫内) 庫内の底版(ダストトレイ)は、反射熱を効率よく利用するためにステンレス板が採用されております。このステンレス板が汚れると、熱効率が低下しますので、使用後は必ず、庫内清掃を行って下さい。扉カバーを外し扉両サイドのフックを上方に引き上げて外すと、掃除がしやすくなります。

外装) こまめに拭き掃除を実行して、外装も清潔にご使用下さい。

火傷などの原因になりますので、本機が十分に冷めてから作業して下さい。

●安全にお使いいただく為に、必ずお守り下さい。●

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂く内容を説明します。

■以下、お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明します。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



危険

死亡または重傷を負う危険が、切迫して生じる恐れが想定されます。



分解禁止

■自分で絶対に分解・修理・改造を行わない。感電・発火したり、異常動作をして、ケガを負う原因となります。



故障と思われるときは、必ず販売店にご相談下さい。



警告

死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



■アースを確実に取り付け下さい。故障や感電が発生したときに、感電などケガを負う恐れがあります。



アース工事は、販売店または電気工事店にご相談下さい。(アース工事は、本製品の保証には含まれておりません。)



■使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いて下さい。絶縁劣化などにより、漏電・感電・火災の原因になります。



■本体のお手入れは、ブレーカを「切」にして、電源コードをコンセントから抜いて本機が十分に冷めてから行って下さい。感電・やけど・ケガをすることがあります。



警告

死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



■熱に弱いものを近づけない。乾えやすいものや、スプレー缶などを近づけるとヒーター使用時の高温で引火や爆発することがあります。



■カーテンなど可燃物の近くで使用しない。火災の原因になります。



■水につけたり、水をかけたり、水のかかる場所や湿度の高い場所で使用しない。感電・ショートの原因になります。



■ぬれた手でプラグの抜き差しをしない。感電・ケガの原因になります。



■オープン皿に油を入れて使用しない。火災の原因になります。



■子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。感電・やけど・ケガの原因になります。



■交流100V以外の電源は使用しない。感電・火災の原因になります。



■電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、はさみこんだり、加工しない。電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。



■電源コードやプラグが腐んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。



■プラグの刃や刃の取付部分にホコリなどが付着している場合は、使用を止めて、清掃お手入れをして下さい。そのまま使用すると、火災の原因になります。



■プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んで下さい。差し込みがゆるんでいると、感電・ショート、発火・発煙・火災の原因になります。



■定格15A以上のコンセントを単独で使用して下さい。他の器具と併用すると、分岐コンセント部の異常発熱による、発火の原因になります。



注意

傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定されます。



■調理以外の目的で使用しない。機器の故障・火災・やけど・ケガの原因になります。



■缶詰や瓶詰めなどを直接加熱しない。破裂したり、赤熱してやけど・ケガの原因になります。



■必要以上に過熱しない。過熱による発火・火災の原因になります。



■調理物が発煙・発火した場合には、以下の禁止事項を守り、すぐにブレーカを「切」にして、電源コードをコンセントから抜いて下さい。火災・やけど・ケガの原因になります。



■高温状態の本体に、消火目的として水をかけない。高温の水蒸気が発生し、でやけどを負う原因になります。



■不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。転倒による破損や、火災の原因になります。



■壁や家具の近くで使用しない。熱または蒸気で、壁や家具を傷め、変色・変形・破損の原因になります。



■トビラに無理な力を加えない。転倒による破損やケガの原因になります。



■使用中や使用直後しばらくは、高温部に触れない。やけど・ケガの原因になります。



■プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずプラグ部を持って引き抜いて下さい。感電・ショート、発火・火災の原因になります。



■使用後は必ずお手入れをして下さい。調理クズや油分が庫内に残ったまま調理すると、発煙・発火・火災の原因になります。